学校名	明善小学校	
ホームページＵＲＬ		児童・生徒数　　７０３名
(1) テーマ 「コクーンワールドを探ろう」 テーマの分類（　②　） 下記の欄外記載事項を参照してください。		(2) 活動の単位に○をつけてください 学級・同一学年・３～４年 ５～６年・学校・ その他（　　） 該当学年　　４年 （回答可能な場合）

(3) 活動のねらい

蚕の飼育を通して子どもたちが持った疑問や不思議を課題とし、子どもたちが自ら課題にあった調べ方を選び、計画を立て、追求して答えを出すという学び方を経験する。

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）

蚕の飼育を通して、子どもたち各々に持った疑問や不思議を出し合い、チャレンジマップをつくり、クラステーマを決めた。同様の疑問を持った者で２～８名のグループを作り、実験、調査を始める。12月末までに現段階での学習のまとめをし、発表することになっている。

時数（　５０　）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）

飼育の体験段階で、桑の木の調査を行った。地域が広く、ブロックを作り、グループによる調査において、担任は一人であるため、十分な指導はしたが、十分な安全の確保という点で非常に不安だった。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）

本年度行ったチャレンジマップは、来年度に持ち越しても余りある内容である。来年度は、地域の養蚕の歴史や、蚕を介して世界を見られる内容も多いため、引き続き取り扱っていきたい。

来年度こそ、地域との連携が必要になってくるものと思われる。

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

ふれる→課題を持つ・しぼる・決める→しらべる→まとめ、伝える→振り返る　という一連の学習の流れの中で、個々の子どもが、自分の課題に向けて、どのように活動したのかを、活動の各場面で評価していくのがよいのではないかと考えている。

(8) 成果と課題

本年度は、学び方を学ぶということでグループ化したが、グループでの追求をしても、個々の子どもの初発の疑問に結びつけられるように配慮する必要がある。

来年度は地域に目が向いてくると予想されるので、調査活動等のあらゆる要求に応じられるように、教師が地域との接点として準備しておかなければならないと考える。(コーディネイターとしての役割)

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学　校の特色に応じた課題